

アジア太平洋トレードセンター株式会社  
令和5年度経営再建計画

概要

当社は特定調停に基づく再建計画の着実な遂行を重点目標としている。返済計画を維持するための資金残高確保のため、不動産賃貸事業者としての競争力の強化により安定的な収益を確保しつつ、施設の経年に対応するための保全工事を行い、ATCビルの不動産価値の維持及び向上を目指す。また、咲洲地区の賑わい創出のために集客機能の一層の強化を図るとともに、公共部門の活性化を通して産業振興に寄与する。

○不動産賃貸事業者としての競争力および咲洲コスモスクエア地区の活性化に寄与する集客機能の強化による安定的な収益の確保

(目標1) 特定調停に基づく債務の返済及び返済等のための資金の確保

大阪・関西万博の開幕まで2年を切り、関連需要もますます顕在化してくると思われるため、全社を挙げてその獲得に注力する。また、来館者ニーズに重点をおいた商業機能の強化、テナントアンケートによる課題抽出を行うことで、ビルの価値向上を図り、営業収益の増加に繋げる。

一方で、ATCビルは築29年が経過しており、今後多額の保全工事費用が必要となるが、適切な管理や改修を行うことにより、その不動産価値を維持向上させつつ、同時にコスト削減も図ることで収益を向上させる。

令和5年度においては、中国からの訪日客の回復の遅れ、共用部にかかるエネルギーコストの上昇等の影響を受けることを想定しているが、上記の取り組みにより、営業利益及び資金残高の数値目標達成に努める。

【指標：資金残高】

(単位：百万円)

	令和5年度 (目標)	中期計画	令和4年度 (実績)	令和3年度 (実績)
資金残高	4,518	4,333	4,504	4,629

(目標2) オフィス部門の収益確保

- ・大阪・関西万博に関連するパビリオン出展者やその建設・運営受託会社などを中心に誘致活動を行う。
- ・館内環境の整備等を通じたテナントの満足度向上により、オフィスビルとしての価値向上に努める。

- ・令和5年度の営業利益においては、大阪府市のコロナ対応のコールセンター需要が見込まれないため、前年度から減少するが、上記の誘致活動により中期計画を上回る目標とする。

【指標：オフィス部門営業利益】

(単位：百万円)

	令和5年度 (目標)	中期計画	令和4年度 (実績)	令和3年度 (実績)
営業利益	2,609	2,542	2,643	2,702

(目標3)商業部門の収益確保

- ・課題であったオズ棟南館の活性化について、館内店舗とウミエール広場を一体化させた「カフェ&BBQスタジアム」をオープンさせる。これを機に、オズ棟南館の空き区画のリーシングに注力する。
- ・共用部等を活用した短期催事を積極的に開催し、賑わいの創出と収益確保に努める。
- ・令和5年度の営業利益においては、大型区画への入居促進策として、ITM棟2階に、前年度増床出店契約を締結したが、コロナ等による建築資材の入荷遅れが影響し、店舗の営業開始が延期される見通しで、その影響により中期計画から減少する目標とする。

【指標：商業部門営業利益】

(単位：百万円)

	令和5年度 (目標)	中期計画	令和4年度 (実績)	令和3年度 (実績)
営業利益	353	363	310	301

(目標4)ホール部門の収益確保

- ・ホール、ギャラリー、ウミエールキューブなど、特性の異なる会場の効果的な使用プランを提供し、回復の兆しを見せている貸館需要の獲得に努める。
- ・自主企画催事は、ゴールデンウィークに「トミカ博」を4年振りに復活させるとともに、夏季は引き続きホールとギャラリーで2つの催事を並行して開催するなどの相乗効果を上げる取り組みを行い、収益性と集客機能の強化に努める。
- ・令和5年度の営業利益においては、上記の取り組みにより前年度、中期計画を上回る目標とする。

## 【指標：ホール部門営業利益】

(単位：百万円)

	令和5年度 (目標)	中期計画	令和4年度 (実績)	令和3年度 (実績)
営業利益	430	423	389	299

## (目標5) 公共部門の活性化

- ・公共展示場に万博関連展示ゾーンを設置し、11月から12月にかけて万博500日前イベントを開催する。また、未来の介護用具や機器等を紹介する展示ブースを新設し、来場者数の増加と出展企業の誘致に努める。
- ・令和5年度の出展者数においては、上記の取り組みにより前年度、中期計画を上回る目標とする。

## 【指標：出展者数】

(単位：社)

	令和5年度 (目標)	中期計画	令和4年度 (実績)	令和3年度 (実績)
出展者数	380	342	353	335

## (目標6) 来館者数の増加

- ・シーサイドテラスの開業1周年、2隻目のフェリー新造船就航、「カフェ&BBQ スタジアム」、「トミカ博」等、さまざまな魅力を発掘・発信し、更なる賑わいの創出に努める。
- ・年度を通じて咲洲プレ万博を開催し、地域の企業や学校等との連携・協業を促進するとともに、先端技術や万博に関連する実証実験のフィールドを提供し、地域活性化に取り組む。
- ・令和5年度に来館者数においては、上記の取り組みにより前年度、中期計画を上回る目標とする。

## 【指標：来館者数】

(万人)

	令和5年度 (目標)	中期計画	令和4年度 (実績)	令和3年度 (実績)
来館者数	584	583	552	470